

Via Latina 22



総本部よりのお知らせーマリア会

2015年4月
242号



ご復活祭おめでとう!

2015年、この復活祭にあたりVIA LATINA 22は読者の皆さんに心からご復活祭のご挨拶を申し上げます。そして復活した主が全世界全ての人々に平和をお与えくださるようお祈り致します。

拡大総長評議員会がVIA LATINA 22で開催

マリア会の5つのゾーンの代表者が、年次会議出席のため総長評議員会の4名のメンバーに合流しました。私たちの「生活の規則」(RL:7-61)で規定されているように、彼ら9名で拡大総長評議員会を構成しています。会議はVia Latina22にて2015年3月17日から19日に行われました。拡大総長評議員会は総本部で顧問的な役割を果たしています。それはまた全世界マリア会の各行政単位の情報交換の手段にもなっています。

それぞれのゾーンに属する行政単位についての種々報告を分かち合うことに加え、会議の焦点はマリア会ゾーンの「再構築」に関する提案を策定することでした。これは前回の総会で要請され、数年来進行中の懸案事項となっています。これにはゾーンと行政単位の担当者との間で行われる意見交換と討議が含まれています。

行政単位とゾーンからの反応、意見を考慮しながら、拡大総長評議員会は2015年7月に行われる総指導者会議で提起される提案書の作成を行います。そしてこれは論評と修正を行いながら2018年の総会に最終提案となるよう準備するものです。



L-R: Members of the Extended General Council:
Bro. Michael McAward (GA), Bro. Jean Marie Leclerc (FR-CEM), Bro. Christophe Muyuka (CO-CAM), Fr. André Fétis (GA), Fr. José María Arnaiz (CH-CLAMAR), Fr. Manuel Cortés (GA), Fr. Isao Aoki (JA-Asia), Bro. Maximin Magnan (GA) and Fr. Martin Solma (US-MarConf)

シャミナード国際神学校への公式訪問



現在、シャミナード国際神学校は13名の神学生、1名の専門分野の勉強中の司祭、2名の養成者によって構成されています。4大陸の7ヶ国から彼らは来ています。神学生は5名が1年生、3名が2年生、そして5名が3年生で助祭職の年となっています。

3月13日～15日、USA管区長Marty Solma師、総本部霊生局長André Fétis師が教会法の規定に従ってこの共同体訪問を行ないました。この年次会合は神学校共同体の生活について一緒に考え、現在と将来のために何らかの提案を行う重要な機会です。そのため、この訪問の基本要素の一つは訪問者

が共同体メンバーと個人面談を行うことです。彼らのそれぞれの出身地と体験が多様であるため、この面談には面白さがあります。この訪問のもう一つの要素は、単純に共同体の日常生活、すなわち、祈り、食事、休憩を共有することにあります。共同体と訪問者は夜の会合でこの訪問の結果について一緒に話し合います。この訪問報告書は後日拡大総長評議員会のメンバーによって再検討されます。彼らは年次会合でこれを評価する責任があります。これは神学校と世界のマリア会との間の絆を深める手段です。

この訪問の経験はほんとうに意義ある機会です。なぜなら、このような共同体の有する人間の豊かさは言うまでもありません。そしてこのような生活環境で、人はマリア会の生活についての小さな総合、その強さ、および直面すべき課題を理解することができます。今回、私たちが訪問で見てきたことは私たちに満足と希望の理由を与えてくれます。すなわち、兄弟的な絆がここで築かれていること、信仰とマリアニスト的体験の内容が深められていること、使命への養成、他の文化およびマリア会の有する国際的な資質に開かれていること、これらは全て、ここに神学生を送っている一つひとの行政単位において将来成長し実を結ぶ種考えられます。上に述べた様々な分野で活動するための強いモチベーションが神学生一人ひとりから感じられます。

私たちの祈りと兄弟的支えで彼らに同伴しましょう。神学生一人ひとりにとって、司祭職への良い道のりでありますように！

総本部財務委員会会議

マリア会の「一般財務指針」は、全行政単位の管理部門に対して行政単位における財務の諸問題の管理に関して相談と助言のための財務委員会を設けるよう要請しています。同様な形で、総本部財務委員会は総本部に同様な業務を提供します。3月13日～14日、この委員会はマリア会財務局長Michael McAward士の主催でVia Latina22において年次会議を開きました。今回の会議では、総本部の投資、予算、その他の課題について討議が行われ、助言がなされました。これからも、委員会は確かな管理を行うことができるように、e-mailによる連絡を取り合っていきます。



L-R: Members of the Temporalities Committee: Bro. Michael McAward, SM (GA), Bro. Chola Mulenga, SM (EA), Bro. Ron Overman, SM (US) and Mr. Paul McDonald (USA)

3月25日：マリアニスト家族の保護の祝日 および召命のための祈りの日

マリアニスト家族世界評議会は私たちの霊的家族の保護の祝日として神のお告げの祝日を選びました。この目的で、初めて、汚れなきマリア修道会（FMI）の修道女、マリア会（SM）の会員、そしてローマの信徒マリアニストグループ（MLC）のメンバーが、私たちの共通のマリア的召命のしるしであるこの祝日の家族としての祝いのために3月25日にFMIの共同体があるCasa Adèleに集まりました。

Manuel Cortés師とその評議員会、FMIの総長評議員会を代表したシスターAna LuciaとシスターGretchen、イタリア管区長シスターPaola Brivio、その他、修道女たちと信徒マリアニストたちが出席者し、皆でこの祭日の第2晩課を歌い、その後、おやつを分かち合いました。



両修道会 「創立200周年記念式典」 への招き

アドレス変更

- **Frank Annunziata (EA):**
fasm4982@yahoo.com

総本部日程

- **4月19日～5月1日:**
総長評議員会 韓国地区訪問

総本部通信 最近の送信

- **訃報:** Nos. 8-11
- **3月24日:** 霊生局長André Fétis 師からローマのシャミナード国際神学校視察報告書を3ヶ国語で行政単位の全責任者とその霊生補佐に送付
- **3月25日:** (2016-2017の創立200周年共同回章)を3ヶ国語とイタリア語で、マリア会と汚れなきマリア会の総長代理として、マリア会の書記局によって全行政単位とマリアニスト家族世界評議会の全責任者たちに送付。この資料はマリア会のウェブサイト：marianist.orgでも検索出来ます。

